

曼陀峠で発見!

海老済・石砂のお宝

こう見えて、じつは宝の山です。



徳島県との県境の谷間に佇む海老済集落。

一つ一ついいいに仕分けられたら、ほら、見覚えのあるかたち。

シャシャキも、ハナマツも、山菜も、みんな山からのいただきもの

見渡す限り山が重なりあう石砂の山奥。まず山の神様にお参りして、さらに山道を進むと、シャシャキ(ヒサカキ)畑が見えてきました。シャシャキとは、仏様に供える枝もののこと。海老済・石砂地域は、五郷の中でも一番山奥に位置し、シャシャキやハナシバ、サカキやハナマツなどの枝ものを栽培しています。

「他の地区でもつくったけど、やっぱりここのシャシャキが色がええゆうて。この辺りは、夏でも昼過ぎにはもう日が陰りますからな。日が当たらんお陰で葉が焼けるのだと思います」と話すのは、生まれも育ちも海老済という石井敏さん。五郷の人たちさえも「山」と呼ぶこの地域にあって、石井さんは山の大ベテラン。一緒に山道を歩くと、「ここはさっきまでイノシシがおった。匂わん?」「この穴は1ヵ月前に掘ったやつ、これは1週間くらい前かな」と、五感で山と会話をしているよう。また「山には至る所に神様がおられる」と話す石井さん。山中には、海老済や田野々などそれぞれの集落の方を向いて、山の神様を祀った小さな祠が並んでおり、代々、山で働く人たちがお守りしてきたとのこと。他にも大木を神様として祀ったりもしていたそうです。

「家族は山を下りたけど、わしは自分が生まれ育ったところが好きやから、毎日山に帰ってくる」という石井さんのおすすめは、山荫ゆる新緑の頃。ワラビ、ゼンマイ、フキ、イタドリ…などの山菜に加え、川へ行けば春はアカマツ、夏はウナギや川エビなどがとれ、まさに食の宝庫。すべては山からのいただきもの。神様に抱かれた豊かな自然があればこそその山の幸です。



上: こんびらさんが祀られているという「山神社」

下: 春になると一気に山がにぎやかになる

地元のロコミ

「狩り場焼」と言えば、五郷ではイノシシ肉のバーベキューのこと。美味しいよ!



夜は空を見上げて! 降るように見えるけん

神社の由来等を日本語と英語で表示した棒賀神社の手作り看板。ぜひ見てみての!



海老済・石砂ってこんな所

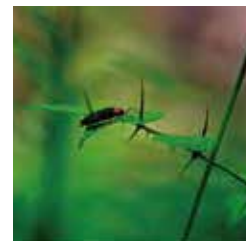
五郷ダムの上流、徳島と愛媛の県境に位置し、徳島に抜ける曼陀峠手前の谷間に集落が広がる。古くからお遍路さんや山越える旅人の通り道で、1980年までは五郷溪温泉もあった。谷間にあることから日差しが届きにくく農業には不向きであるが、古来から神仏に供えるシャシャキやシキビ、ハナマツの栽培が盛んである。山菜も多く、春にはワラビやタラノメ、夏にはミョウガが採れる。畑を荒らすイノシシを狩猟し、一部ではシシ肉の販売もしている。

他にもあるよ! 海老済・石砂のお宝



21 棒賀神社

秋祭りには地区の「青年衆」が獅子舞を披露する海老済の神社。境内のイチョウも見事。



22 前田川のホタル

海老済集会所近くの前田川では、6月頃になるとホタルが乱舞。夏にはカジカ蛙の声も。



23 石砂観音様

毎月17日に住民が集まって般若心経を唱えていたが、現おりょうぐには「御霊具」をお供えしている。紅葉が見事。



24 犬神大明神

その昔、流行病の祈祷に犬を生け贄にしたとか。2年に一度、旧暦11月に霜月祭りが行われる。女人禁制。



25 曼陀峠

標高約600m。古来から讃岐と阿波を結ぶ交易の道として賑わった。曼陀トンネル横から遊歩道あり。